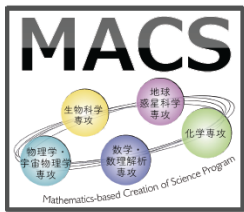


主催



MACS 特別セミナー 「あなたは転写因子派、エピジェネティクス派？」

他専攻からも来聴歓迎！



講師: Ken W.Y. Cho 教授

Developmental and Cell Biology,
School of Biological Sciences,
University of California, Irvine. USA.

日時: 2018年 11月7日(水) 16:30~

場所: 理学 1号館106号室(BP1)

鶏と卵のどちらが先にできたのかと聞かれたらどう答えますか？ これと類似した課題が実は初期発生にもあります。動物の発生は一つの全能性細胞(受精卵)を作ることから始まり、やがて受精卵は細胞分裂を経て、3つの胚葉(内、中、外胚葉)へと分化します。この過程で重要なのは、転写因子による遺伝子制御と、クロマチンのエピジェネティクスです。では初期発生時期の細胞運命を司る遺伝子の発現は、どちらのメカニズムがより有効に作用しているのでしょうか？ システムバイオロジーのデータをもとにカエルとマウスでのお話しをします。

Biodiversity
Colloquium

世話人:
生物科学専攻 動物学教室
高橋淑子 内線 4102